

令和元年度第2回八街市地域公共交通協議会 議事録

開催日時	令和2年1月20日(月) 10:30~12:00
開催場所	八街市役所第1会議室
出席状況	23名(出席者については、別紙「出欠席者名簿」を参照)
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 八街市地域公共交通網形成計画策定に資する調査業務について(報告) (2) 地域公共交通調査等事業に係る自己評価(一次評価)について 4. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 八街市地域公共交通協議会の新たな委員の委嘱について (2) バスの乗り方・交通バリアフリー教室の開催について 5. 閉会
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度第2回八街市地域公共交通協議会次第 ・ 令和元年度第2回八街市地域公共交通協議会委員出席者名簿 ・ 【資料1】八街市地域公共交通網形成計画策定に資する調査業務結果報告(速報版) ・ 【資料2】地域公共交通調査等事業に係る自己評価(一次評価)について ・ 【資料3】八街市地域公共交通協議会の新たな委員の委嘱について ・ 【資料4】バスの乗り方・交通バリアフリー教室の開催について
会議概要	<p>○議題</p> <p>(1) 八街市地域公共交通網形成計画策定に資する調査業務について(概要)</p> <p>・ 平成27年度に策定した八街市地域公共交通網形成計画の計画期間が令和2年度までとなっており、今年度は次期計画を策定するための調査業務をおこなっている。主な内容として、現在の公共交通における利用状況調査、市内公共交通に関する課題の整理と取りまとめ、地域特性に即した公共交通網の見直し案の検討・提案。市コミュニティバス(ふれあいバス)、路線バス(八街循環線)の利用者を対象とした、車内アンケートや調査員の観測による乗降客調査の結果について報告した。</p> <p>【主な意見、質問等】</p>
中村委員	<p>資料を事前送付などにしていただけないと読み込めないと思う。また、交通不便地域アンケートについても、当協議会の場において、審議や承認をし内容の確定をするべきではないか。また、この協議会の場が承認機関ではなく、協議の場として活用するよう上手く改善していただきたい。全ての意見を取り入れて欲しいというわけではなく、広く意見を吸い上げているのかどうか疑問に思っているところである。</p>
鵜澤会長	<p>中村委員のおっしゃることは十分理解できるが、この場で全てを協議して、細かな事まで決める協議会ではないということを理解いただきたい。協議会の大きな方向性での要請はこの場で何うが、細かな事務作業については事務局で進めさせてい</p>

	<p>ただ。アンケート調査につきましても、第1回目の協議会の場で調査業務を行うことをご報告させていただいており、アンケートの細かな内容などについて、各委員の方々に決めていただくことと事務が進みにくいということをご理解いただきたい。ただ、各委員の方々からこういう調査をやりたいなどの要請があれば、事務局はその要請を考慮し事務作業を進めていかなければいけないと思います。この協議会は年に数回程度しか開催することができず、皆様方に決定的なご意見をいただくことが重要であり、個々の事務を進めるのであれば、毎月会議を開催しなければこの協議会は運営できないと思いますので、この点についてはご理解いただきたい。</p>
<p>鵜澤委員</p>	<p>調査結果については、今後のバス運行の参考にしていきたい。千葉交通が運行する住野線は、成田市、富里市、八街市を運行する長期路線である。平日16往復、休日12往復あり、沿線に高校などもあることから、路線の維持を続けていきたいと思っている。</p> <p>成田市は、四車線化などにより、右折レーンを多く取っていただいている、富里市、八街市も道路の拡幅も大事だと思うが、右折レーンを多く取るなどの道路改良もあれば助かります。</p>
<p>鵜澤会長</p>	<p>道路改良については、直ちに改良というのは難しいが、国道409号線の住野十字路の改良など利便性向上にむけ進めておりますのでご理解いただきたい。</p>
<p>今井委員</p>	<p>バス事業者として現在の道路環境については、八街バイパスが途中まで来ていることから、走行環境は少しずつ改善されてきており開通すればバスの定時性確保が向上すると考える。利用者数などはこの数年はほぼ横ばいと感じている。去年の災害では、バス事業者間の横のつながり、八街市との連携によって、バスに対する苦情なども少なく済んだ。利用者の安全確保のための運休対応についても皆様のご理解を得られた。この先も、災害などがあつた場合は、市と連携を取りながら、お客様の安全を確保し運行していきたい。</p>
<p>龍崎委員 (代理)</p>	<p>2月1日よりタクシー料金の改定を予定している。</p> <p>初乗り運賃：740円 → 500円</p> <p>キロ数：2km 740円 → 1.27km で500円</p> <p>加算額：284m 90円 → 263m 100円</p> <p>迎車料金：1km 限度に実車扱い → 300円均一 など</p>
<p>小杉委員 (代理)</p>	<p>九十九里鐵道の八街線について、八街市内への乗り入れは1日3回だけ運行させていただいている。収支は、芳しくなく東金市の補助を受け運行している。両都市間の移動利用されている方はほぼみられない現状である。消費税増税分の対応については、10円プラスに転嫁している。元々の利用者数が少ないため、乗車人数などの影響はほとんどない。他の路線バスについても増税後にお客様が減ったと感じることはない。</p>

	<p>(2)地域公共交通調査等事業に係る自己評価(一次評価)について(概要)</p> <p>次期公共交通網形成計画に向けた地域公共交通調査事業として、国の地域公共交通確保維持改善補助金を活用しており、事業評価については本事業の意義を確認するため協議会自ら評価を実施し、国へ提出するものである。</p> <p>【主な意見、質問等】</p>
成田委員	<p>資料2 ポンチ絵「調査事業の結果概要」に記載のある基本方針について、最終的な結果報告で決めるものであると考える。協議会の開催も今年度中に3回目の開催がなければ、基本方針(案)として修正したほうが良いのではないかと。</p>
事務局	<p>今年度については、3月にも開催予定であります。3月の会議については、事前に資料を送付させていただき、委員の皆様へは目を通していただいて会議に出席いただけるようにしたいと考えております。</p>
成田委員	<p>それでは、協議会開催状況の欄に3回目の開催予定と追記しては如何か。</p>
事務局	<p>開催状況について、3回目の開催予定を追記します。</p>
中村委員	<p>数年前から資料の表現の仕方など、あまり変化がみられないと思います。協議会の場で何度も目にしてみると、この協議会が進歩しているのか疑問に感じてしまいます。PDCAサイクルがうまく機能していないと思います。</p>
鵜澤会長	<p>ご意見ご要望としてしっかり受け止めて、今後検討していきたいと思います。ただ、ご理解いただきたいのは、八街市の公共交通の課題というのは、過去5年間のものをみても例えば、路線バスの利用者が中々伸びていないなど、課題自体は大きく変わっていないが、それに対する対応策については変えていく必要はあると考える。</p>
池田委員 (代理)	<p>参考までに来年度の計画策定業務及びそれに係る調査の実施について、予定されているか。また、内容について、前回のふれあいバス再編のような方針や既に決定されていることがあれば教えて下さい。</p>
事務局	<p>今年度は次期計画を策定するための調査業務をおこなっており、この結果を3月までに取りまとめをし、その結果をもって次期計画の基本方針案を決めます。来年度は、基本方針案をもって次期計画を策定しますが、策定するうえで必要な追加調査などを実施し、より利便性の高い公共交通を実現していきたいと考えております。</p>
斯波委員	<p>昨年12月に、国の交通政策審議会地域公共交通部会が開催され、地域公共交通活性化再生法等の見直しがされている。平成26年の改正では、地域公共交通網</p>

形成計画を法定計画として規定していたが、今後はこれまでの法定計画を活かしつつ、「地域公共交通ネットワークの形成」に加え、「地域における輸送資源を総動員」することで、持続可能な地域の旅客運送サービスの提供を確保することを目的とする「地域公共交通計画(仮称)」の作成・実施を推進されていく。

上記の質疑のあと議題(2)地域公共交通調査等事業に係る自己評価(一次評価)については、原案のとおり承認された。

○その他

(1)八街市地域公共交通協議会の新たな委員の委嘱について(概要)

八街市地域公共交通協議会第4条別表の委員組織について、国土交通省関東運輸局長又はその指名する者を追加し、協議会規約の改定を行ったことを報告。次回の会議より出席をいただく予定である。

【主な意見、質問等】

なし

(2)バスの乗り方・交通バリアフリー教室の開催について(概要)

毎年、当協議会と関東運輸局千葉運輸支局の共催という形で、市内の小学校を対象に実施をしている。バスの乗り方等を学び、愛着をもってもらい利用促進につなげるバスの乗り方教室と車いすや視覚障がい者など、実際の疑似体験を通して介助方法を学び、こころのバリアフリーを育んでもらう交通バリアフリー教室の2つの教室を令和元年11月14日に、朝陽小学校4年生を対象に学んでもらいました。

【主な意見、質問等】

鵜澤会長

この教室については、私も参加させていただきましたが、児童達は熱心に興味津々で学んでくれました。千葉運輸支局様と連携し、これからも続けていきたい事業であります。

斯波委員

教室の開催にあたりましては、ご協力ありがとうございました。来年度以降についてもご協力いただければと思います。

○閉会